

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					10061 小中学生の体づくり推進事業					教育委員会事務局学校教育部	学校管理課
1 事業概要		中事業番号		1110								所属コード	521000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	4.4									小学3年生から中学3年生までの全児童・生徒を対象にした体力・運動能力等のテストの実施、体育主任研修会等の各種研修会の実施、民間施設指導者派遣の実施。小学校低学年においては体育の授業の充実、運動量の確保、指導主事や体育教員によるサポート体制の整備を図り、また小学校高学年以上においては、体力・運動能力等のテストの実施によって状況を把握した上で、事業を実施していく。	児童・生徒の体力・運動能力等を継続的に把握し、専門指導者による授業や研修、小中学生の体力向上に努める。	
施策	3 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち												

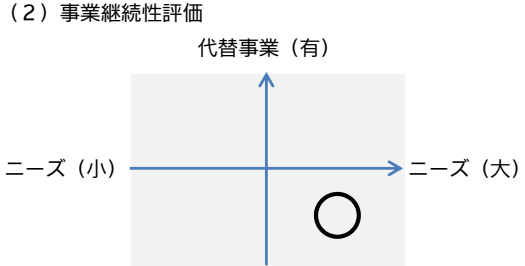
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
郡山市の児童生徒は、東京電力福島第一原子力発電所の事故による屋外活動の制限や、新型コロナウイルスによる学校活動の制限を受けるなど、長い期間にわたって、運動への機会や場所を失う事態となっている。今日的課題として、SNSやネット環境の普及により、遊びの内容や場所が大きく変わり、運動をする機会や運動をする意識自体が大きく低下している。		原子力発電所の事故・新型コロナウイルスの感染により、児童生徒の生活習慣は大きく変化し、運動に対する意識が薄くなっており、運動量や運動時間が大幅に減っている児童生徒が増加している。それに伴い体力・運動能力調査の数値は低い数値で推移している。また、生活習慣により肥満傾向児の出現率も増加している。		コロナ禍により、運動の機会が制限された影響で一度下がった児童生徒の運動時間や関心の低下を取り戻すにはさらに時間がかかると思われる。児童生徒の運動に対する意識を高揚させるためにも体づくり推進事業の継続が望まれる。		健康な体をつくるための体力の向上、より安全・安心な教育環境の充実が望まれる。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	公立小中学校数	校		76		76		76								
活動指標①	研修会の実施回数	回	6	4	6	3	6	3	5		5		5	5		
活動指標②	民間施設指導者派遣者数	人	100	78	100	93	100	99	100		100		100	100		
活動指標③																
成果指標①	小学校5年生の体力運動能力調査結果	点	54	53	54	53	54	53	54		54		54	54		54
成果指標②	中学校2年生の体力運動能力調査結果	点	46	43	46	44	46	45	46		46		46	46		46
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	小中学校1校当たりのコスト	千円		153		143		165	164		164		164	164		
単位コスト（所要一般財源から算出）	小中学校1校当たりのコスト	千円		153		143		165	164		164		164	164		
事業費		千円		6,593		6,079		7,358	6,785		7,700		7,700	7,700		
人件費		千円		5,041		4,776		5,190	4,776		4,776		4,776	4,776		
歳出計（総事業費）		千円		11,634		10,855		12,548	11,561	0	12,476	0	12,476	12,476		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		11,634		10,855		12,548	11,561	0	12,476	0	12,476	12,476		
歳入計		千円		11,634		10,855		12,548	11,561	0	12,476	0	12,476	12,476		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
「郡山市立学校体育主任研修会」では体育主任としての資質の向上を図り、実践的指導力が身につくよう講習を行った。令和5年度の体力運動能力の分析も行い、課題を明確にし、郡山市立学校全体が同一歩調で実践できるように工夫した。「スポーツメディカル講座」ではスポーツ活動実施の際の傷害の予防・防止、正しい運動処方、運動の効果等について実践力を高めた。「部活動指導者のためのスキルアップ研修会」では、部活動指導者の資質向上を高めるよう研修を行った。また、民間エキスパート指導者活用事業においては、ほぼ例年通りの内容で実施することができ、多くの学校から高い評価を得ている。	全国体力・運動能力調査については、5年生については昨年度とほぼ同等の結果、中学校2年生については目標値には及ばなかったものの向上が見られた。5年生についてはコロナ禍による運動機会の減少、学校や地域の体育行事の削減・縮小等が起因していると考えられる。中学校2年生については、運動する機会（特に部活動）がコロナ前に戻り、通常通りの活動ができたことが要因として考えられる。今後子どもたちの運動に対する興味関心・意欲の向上のために、運動に親しむ環境づくりを行ってきたい。また、郡山市立学校での体力・運動能力調査を予定通り実施することができ、その結果から各校において課題解決のための手立てを考えることができた。	【事業費】各事業に必要な経費となる額であり、体力運動能力調査手法のデジタル化に係る紙出力経費の発生に伴い委託料が増加した。なお、今後は紙出力を行わないため、調査コストは減少する見込みである。 【人件費】人件費は昨年度と大きな違いはなかった。体力・運動能力調査の実施（評価分析）は、本市の児童生徒の体力・運動能力の現状を把握する重要な事業なので、今後も継続していきたい。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）		4



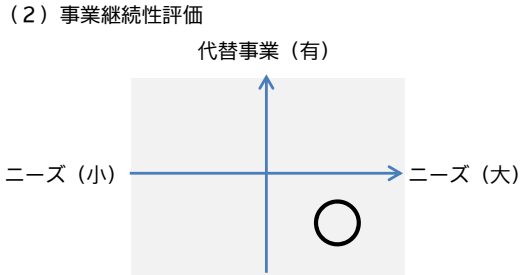
継続	一次評価コメント
本市児童生徒の体づくりを推進することは、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かな生活を営む基盤となる。 各種研修を通して、体力向上のみならず健康や安全にかかわる内容についての最新の知見を周知している。また、体力・運動能力調査の実施を通して、本市児童生徒の現状を分析し、さらに体力を高めるための方策について検討している。 今後も、民間エキスパート指導者活用事業等、児童生徒の体力向上を図るための施策の実施と評価を継続していく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス (会議レス)
			○		○

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
令和6年度は、研修会の実施は計画値を下回ったが、民間施設指導者派遣者数はおおむね計画どおりであった。民間施設指導者派遣は各学校から要望が多く、高い評価を得ている。 小学校5年生の体力運動能力調査結果は維持しているが、中学校2年生の体力運動能力調査結果は上昇傾向にある。中学校2年生の結果が上昇した要因を分析し、小学校へも横展開できるように努める必要がある。 事業費については、令和5年度と比較して上昇したが、デジタル化を推進したためであり、令和7年度以降はペーパーレスが推進される見込みである。 児童生徒の体力向上及び体づくりの推進は将来にわたり健康へ影響することから、小中学生の体力を向上するため、今後も継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画